

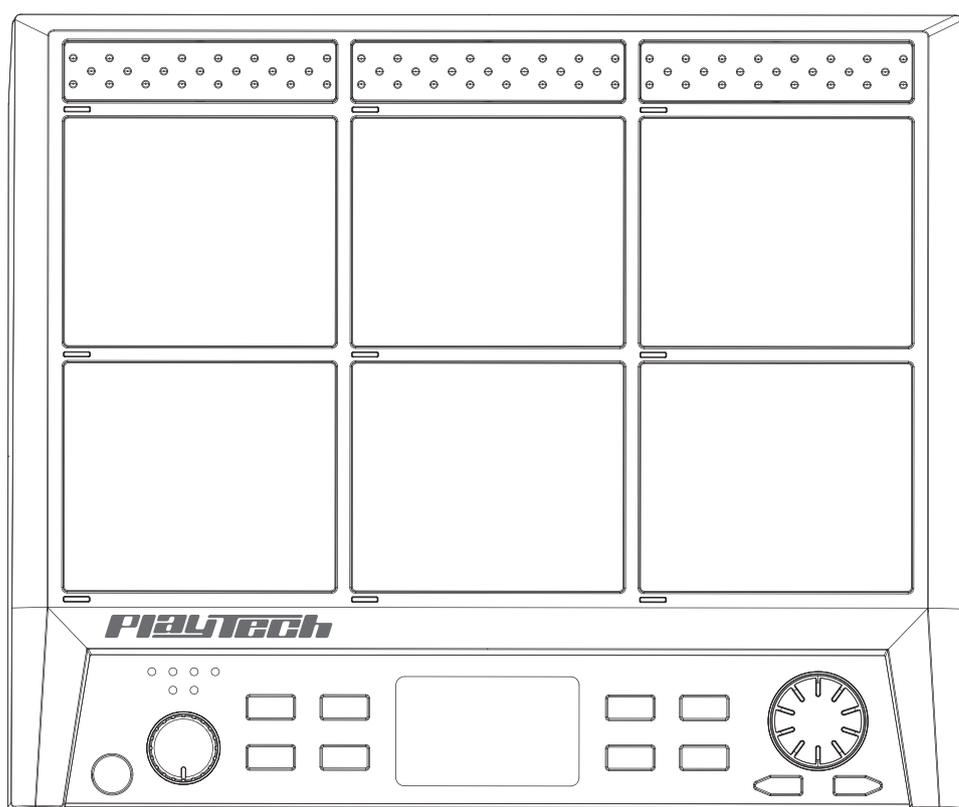
PLAYTECH

サンプリングパッド

PSD200

取扱説明書

Ver. 1.0



安全上のご注意

正しく安全にお使いになるため、ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みください。
また、お読みになった後も、いつでも手に取れる場所に保管してください。

電源

- インバーター制御の電気製品（冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、エアコンなど）やモーター使用機器が接続されているコンセントに、本製品を接続しないでください。電源ノイズにより本製品が誤動作したり、ノイズが発生の可能性があります。別のコンセントの使用が困難な場合は、本製品とコンセントの間に電源ノイズフィルターを接続してください。
- 長時間連続して使用すると、ACアダプターが発熱することがありますが、これは異常ではありません。
- スピーカーや他の機器が故障や誤動作を起こすのを防ぐため、他の機器と接続する前に、すべての機器の電源をOFFにしてください。

設置

- パワーアンプ（または大型電源トランスを含む機器）の近くで使用すると、ハムノイズを誘発することがあります。その場合、本製品の向きを変えるか、ノイズ源から離して設置してください。
- ラジオやテレビの受信を本製品が妨害することがあります。これらの近くでは本製品を使用しないでください。
- 本製品の近くで携帯電話などの無線通信機器を使用すると、着信時や通話時、会話中にノイズが発生することがあります。このような場合は、通信機器を本製品から離れた場所で使用するか、通信機器の電源を切ってください。
- 本製品を直射日光に当てたり、熱を発する機器の近くや密閉された車内など高温にさらさないようにしてください。過度な熱は、本体を変形させたり、変色させることがあります。
- 温度や湿度が大きく異なる場所に移動した場合、本体内部に結露が発生することがあります。このような状態で使用すると、故障や誤動作を起こす可能性があります。この場合、結露が完全になくなるまで数時間放置してください。

その他の注意事項

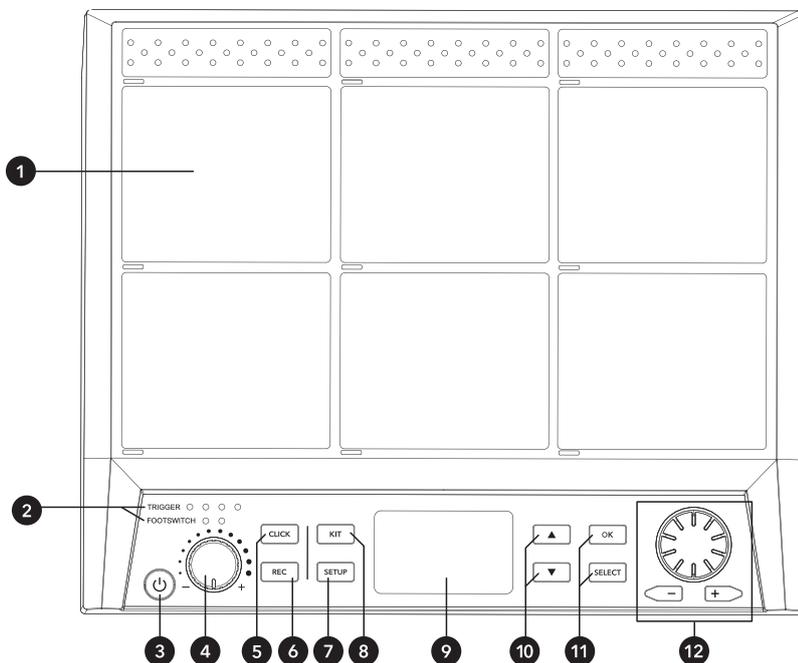
- 本製品のメモリーに保存されたデータは、故障や誤操作により消去され復帰できなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本製品のボタンやつまみを使用する際は、十分注意してください。手荒に扱くと、故障の原因となることがあります。
- ディスプレイを叩いたり、強い圧力をかけたりしないでください。
- ケーブルの接続・取り外しは、コネクタ部分を持って行ってください。ケーブルのショートや内部の破損の原因となりますので、決してケーブルを引っ張らないでください。
- 周囲の迷惑にならないよう、本体の音量は適度な大きさを保つようにしてください。
- 振動は床や壁を通して伝わるため、特に夜間やヘッドホン使用時には近隣の迷惑にならないように注意してください。
- 本製品を輸送するときは、できるだけ入荷時に梱包されていた箱（緩衝材を含む）に入れてください。
- 本製品との接続に抵抗を組み込んだケーブルは使用しないでください。音が極端に小さくなったり、聞こえなくなることがあります。

お手入れ・メンテナンス

- 日常のお手入れは、乾いた柔らかい布か、水で少し湿らせた布で本体を拭いてください。
- 頑固な汚れは、中性洗剤を含ませた布で拭き取り、その後、乾いた柔らかい布で本体をよく拭いてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、溶剤は、変色や破損の原因となるため、絶対に使用しないでください。

各部の名称と機能

トップパネル



① ドラムパッド

叩くとドラムサウンドが鳴ります。同時にLEDが点灯、MIDIに信号が送られます。各パッドには個別の番号が振られており、メニューで設定を変更する際にはこの番号を使用します。

② TRIGGER / FOOTSWITCH LED

外部トリガーやフットスイッチを使用するときに点灯します（これらは、本製品背面パネルのインプットから接続します）。

③ 電源ボタン

本体の電源をON/OFFします。押すと電源が入り、5秒間長押しして離すと電源が切れます

④ ヘッドホン・ボリュームホイール

ヘッドホン出力の音量を増減します。マスター出力のレベルは、背面パネルで調整します。

※耳とヘッドホンを保護するため、本体の電源を入れるときは、ボリュームを最小に設定にしてください。

⑤ CLICKボタン

メトロノームが起動し、CLICKメニューに移動します。SETUPメニューでは、SoundGroup、Beat、Rhythm、Panの各サブメニューにアクセスできます。

⑥ RECボタン

RECORDモードに入ります。

⑦ SETUPボタン

MIDI、PAD、Trigger、Display、Version、Reset、Updateのサブメニューにアクセスできます。

⑧ KITボタン

KITメニューにアクセスし、様々なプリセットキットを調整・選択できます。▲/▼ボタンを使用してサブメニューにアクセスできます。

※このボタンから、Home、Wave、Loop、Effect、ADV、ADV2、KITCHの各サブメニューにアクセスできます。

⑨ 液晶画面

本体の情報、メニュー、パラメータなどが表示されます。「+」/「-」ボタンや、スクロール・ホイールを使用して表示された値を変更します。

⑩ ▲/▼ボタン

液晶画面に表示されるメニューの操作に使用します。

⑪ OK/SELECTボタン

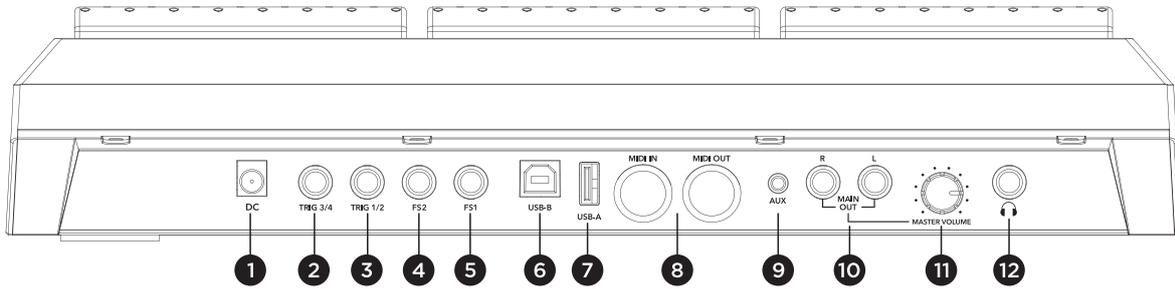
SELECTボタンを押して、メニューのオプションを選択し、OKボタンを押して確定します。

⑫ スクロールホイール・+/-ボタン

値を増減させたり、オプションをスクロールさせます。

各部の名称と機能

背面パネル



① DC電源入力

付属のDCアダプターを接続します。

② TRIG 3/4

デュアルゾーン・トリガーパッドやアコースティック・ドラムトリガーを接続する際に使用します。信号を受信すると、1番右のトリガーランプが点灯します。



※デュアルゾーンの機能を完全に発揮させるには、ステレオ接続ケーブルが必要です。

③ TRIG 1/2

デュアルゾーン・トリガーパッドやアコースティック・ドラムトリガーを接続する際に使用します。信号を受信すると、1番左のトリガーランプが点灯します。



④ FS2

フットスイッチを接続するために使用します。演奏すると右のフットスイッチのランプが点灯します。(初期設定では、キックドラムを想定しています)



⑤ FS1

フットスイッチを接続するために使用します。演奏すると左のフットスイッチのランプが点灯します。(初期設定では、ハイハットペダルを想定しています)



⑥ USB-B

USB-B接続ポート。コンピュータと接続してUSB MIDIを使用する場合に使用します。

⑦ USB-A

USB A接続ポート。USBメモリーを接続してのファームウェアのアップデート、サウンドファイルやプリセットキットのインポート/エクスポートを行います。

⑧ MIDI IN/OUT

5ピンMIDIケーブルを使い、情報を送受信できます。

⑨ AUX

3.5mmステレオミニケーブル(別売)を使用して、MP3プレーヤーやノートパソコンなどの補助音源接続に使用します。音量は音源側で調節してください。

⑩ MAIN OUT L/R

本製品のメイン出力端子です。モノラル・フォン端子ケーブルでミキサー、インターフェース、アンプなどに接続します。モノラルの場合、ケーブル1本をL/MONO出力に差し込みます。ケーブルを2本接続すると、左右の音声信号がそれぞれのケーブルに送られ、ステレオ出力となります。

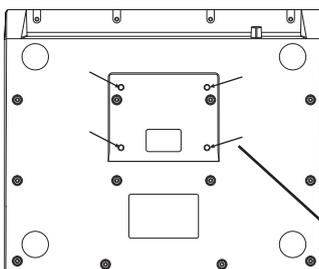
⑪ MASTER VOLUME (マスターボリューム)

本製品のメイン出力音量を調節します。

⑫ ヘッドホン

ヘッドホン接続用のフォン出力端子。フロントパネルのボリュームホイールで出力レベルを調整が可能。

底面パネル



- 本製品は机に置いて演奏することも、一般的なスネアドラムスタンドに設置することも可能です。
- 本製品専用で作られたスタンドは、サウンドハウスのWEBサイトから購入できます。(soundhouse.co.jp)

専用スタンドにマウントする際は、付属のパーツを取り付けます。

クイックスタートガイド

1. 背面パネルに周辺機器を接続します。
2. 電源を入れ、ドラムキットモード (KITボタンのランプが常に点灯) になっているのを確認します。
3. ドラムスティックを使用し、9つのドラムパッドを叩いて演奏します。

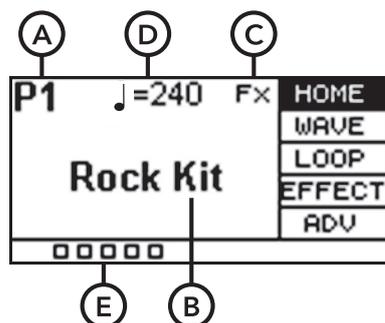
接続時の注意点

- スピーカーや、その他のオーディオ機器の損傷と、耳を傷めないために、他の機器と接続する前に音量を下げ、電源を切ってください。
- アンプやミキサーへのケーブルはメイン出力に、ヘッドホンはヘッドホン出力に接続してください。

メインモード (KITモード) (1/4)

- 液晶画面のメニューは、▲/▼を使用して選択します (HOME - WAVE - LOOP - EFFECT - ADV - ADV2 - KITCH)。
- メニュー内は、主に「SELECT」ボタンを使用して変更する項目を選びます。
- 値の変更はスクロール・ホイール、または「+」/「-」ボタンで行います。

HOME



- ① **プリセットキット名**
30種類のプリセットキット (P1~P30) のうち1つを表示します。C1~C20はUSBメモリから取り込めるユーザーキットです。
- ② **プリセット名**
現在アクティブなプリセットの名称を表示します。
- ③ **エフェクトの有無**
エフェクトを使用しているときは、右上にFXのマークが表示されます。
- ④ **テンポ**
メトロノームがどのテンポに設定されているかを表します。
- ⑤ **打力の強さ**
画面左下の四角は、パッドに当たっている強さを表しています。1つだけ点灯している場合はソフトヒット、すべて点灯している場合はハードヒットです。

スクロール・ホイールまたは「+」/「-」ボタンで、プリセットを選択します。

OKを押すと、すべてのプリセットキットがリスト表示され、プリセットキットを選択できます。



プリセットのコピーや削除、名前の変更を行いたい場合は、「SELECT」を押します。さらに「SELECT」ボタンを押して、Cancel、Copy、Delete、Renameを選択し、「OK」ボタンで決定します。中止したい場合は「Cancel」を選択するか、再度「KIT」を押して、このメニューを終了してください。



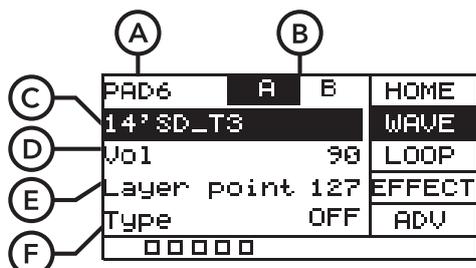
注意

削除できるのは、ユーザーがインポートしたキットのみで、初期設定されているデフォルト・キットは削除できません。

メインモード (KITモード) (2/4)

WAVE

プリセット内の個々のサンプルを調整できます。PADを押して選択し、編集を開始します。「SELECT」ボタンを押してサブメニューを選択し、スクロールホイールまたは「+」「-」ボタンで値を変更、OKを押して保存します。



(A) パッド名

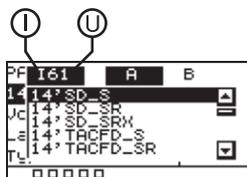
編集中のパッドが表示されます。

(B) レイヤーA/B

パッドを叩くと、編集するレイヤーAまたはレイヤーBを選択できます。TypeがOFFの場合、レイヤーBの音は出ませんのでご注意ください。レイヤーBの音を編集する場合は、TypeとLayerのポイントを先に調整してから行ってください。(Layer Pointを低めに設定しておく、レイヤーBが選択しやすくなります。)

(C) サウンド名

パッドがリンクしているサウンド名が表示されます。スクロール・ホイールまたは「+」「-」ボタンで別の音に変更できます。OKを押して変更を確定します。パッドを押して、編集するレイヤーAまたはレイヤーBを選択します。TypeがOFFの場合、レイヤーBの音は出ませんのでご注意ください。



※ プリセットサウンドは "I" で始まり、ユーザーサウンドは "U" で始まります。

(D) Vol

出力音量を調整するために使用します。

(E) Layer Point (0~127)

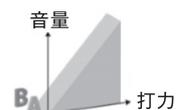
パッドにサウンドAとサウンドBの両方が設定されている場合、この設定値 (0~127) よりも強く叩くとサウンドBが再生されます。

(F) TYPE

OFF、MIX、SWITCH、FADEを選択できます。

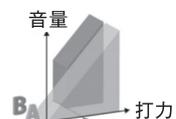
OFF

サンプルAのみ再生し、サウンドBは「/」で表示されます。



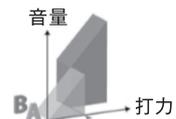
MIX

レイヤーポイントの設定値を超えると、サウンドBはサウンドAにミックスされます。



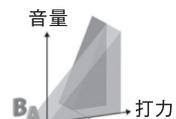
SWITCH

レイヤーポイントの設定値を超えると、サウンドAは出力されず、サウンドBが引き継ぎます。



FADE

レイヤーポイントの設定値を超えると、サウンドBはサウンドAに重なって再生されます。



メインモード (KITモード) (3/4)

LOOP

本機内の搭載済みループや、ユーザーの録音ループを調整します。

(E)	PAD1 [P1]	HOME
(A)	Kit Rock Kit	WAVE
(B)	Midi Ballad	LOOP
(C)	Speed 101	EFFECT
(D)	Volume 24	ADV
	□□□□□	

「SELECT」ボタンを押して(A)~(D)を選択し、スクロールホイールまたは「+」/「-」ボタンで値を変更、OKを押して保存します。

(A) Kit

MIDIで使用するプリセットキットサウンドの名称です。

(B) Midi

MIDIパターンまたはループセレクトの名前です。OKを押すと再生され、もう一度押すと一時停止します。

(C) Speed

ループの再生テンポを20~240bpmの間で調節します。

(D) Volume

ループ全体の音量を調節します。

(E) PAD+番号

MIDIループを再生するパッドを選択できます。パッドを選択して（カーソルがPAD+番号を表示していることを確認してください）、OKを押すと、MIDIループをトリガーすることを示す「*」が表示されます。もう一度OKを押すと、元のパッドの状態に戻ります。1つのプリセットに対して、MIDIを再生するパッドは1つしか選択できません。

ループを設定したPADは、ループ再生専用となり、通常のPAD演奏はできなくなります。

EFFECT

UNITのマスターエフェクトをコントロールできます。各ドラムキットに異なるエフェクトを設定できます。SELECTを使用してFx Send、EQ、Reverb、Limitをスクロールして選択します。

(A)	PAD6	HOME
	Fx Send 64	WAVE
(B)	EQ	LOOP
(C)	Reverb OFF	EFFECT
(D)	Limit OFF	ADV
	□□□□□	

「SELECT」ボタンを押して(A)~(D)を選択し、スクロールホイールまたは「+」/「-」ボタンで値を変更、OKを押して保存します。

(A) FX Send

FXチャンネルに送られる信号の量を0~127の間でコントロールします。値を低くするとエフェクトの効果が少なくなり、高くするとフルに掛かります。

(B) EQ

EQを有効または無効にします。搭載された3バンドEQにより、プリセットサウンドを調整します。

- HIGH: 高音域を±12dB
- MID: 中音域を±12dB
- LOW: 低音域を±12dB

(C) Reverb

リバーブを有効化または無効化します。

- TYPE
ルーム、ステージ、スタジオから選択できます。

(D) Limit

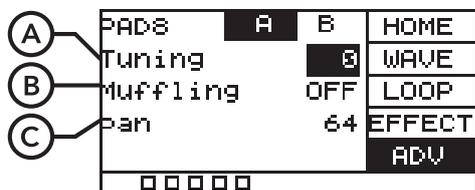
搭載しているリミッター機能を有効化または無効化します。

- スレッシュホールド
0に設定すると入力と出力が同じになり、-12に設定すると出力が最大出力の1/4になります。

メインモード (KITモード) (4/4)

ADV

詳細な機能編集へアクセスします。



パッドを叩いてPADを選び、「SELECT」ボタンを押して①～③を選択し、スクロールホイールまたは「+」/「-」ボタンで値を変更、OKを押して保存します。

① Tuning

サウンドを上下にチューニングします。(範囲は±12です。)

② Muffling

個々のサウンドの消音効果を調整します (範囲は1～4です)。一部のサウンドにのみ有効です。

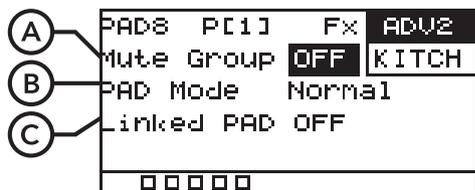
③ Pan

出力の音像定位 (パンニング) を調整します。

0=左、64=中央、127=右

ADV2

詳細な機能編集へアクセスします。



パッドを叩いてPADを選び、「SELECT」ボタンを押して①～③を選択し、スクロールホイールまたは「+」/「-」ボタンで値を変更、OKを押して保存します。

① Mute Group

1～9のMute Groupを作り、あるパッドを叩いた後、Mute Group内の別のパッドを叩くと、最初のパッドがミュートされ、クロスオーバーが起きないようにします。

② PADモード

パッドの動作を変更します。

● Normal

パッドの音を1回だけ再生します。

● Switch

押すと音が鳴り、もう一度押すと音が止まります。バックトラックなどのサウンド・エフェクト・コントロールに最適です。

● Loop*2,4,8

オプションに表示されている回数だけループを繰り返します。例えば、Loop*4は音を4回ループさせます。

● Infinite

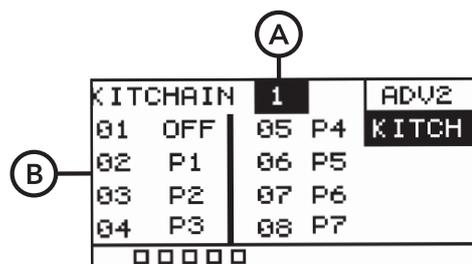
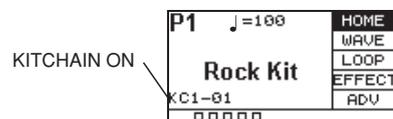
ループを連続的に繰り返します。

③ Linked PAD

他のパッドの音をこのパッドにリンクさせます。2つのパッドを同時に鳴らすことができます。

KITCH

プリセットキットを好みの順番に並べるために使用します。本製品は5つのKITCHAIN (キットの繋がり) に対応し、それぞれのKITCHAINに8種類のキットを入れられます。



① KITCHAIN

どの KITCHAIN を編集するのかをスクロールホイールまたは「+」/「-」ボタンで選択します。1～5またはOFFのいずれかを選択します。OFFを選択すると、KITCHAINが無効となります。

② 01～08

プリセットキットをどのような順番にするかを選択します。01が最初、08が最後です。「SELECT」ボタンを押して、01～08を選択し、ハイライト表示されたら、「+」/「-」ボタンまたはスクロール・ホイールを使って、プリセットキットを選択し、「OK」ボタンを押して決定します。

CLICKモード

CLICKボタンを押すとメトロノームが起動します。CLICKボタンを2秒間押し続けるとCLICKメニューに入ります。

TAP



テンポの調整（20～240bpm）方法は2種類あります。

- スクロール・ホイールまたは「+」/「-」ボタンでテンポを調整します。
- 任意のパッドを2回以上タップすると、テンポを自動で読み取り、TAP画面にテンポが表示されます。

SETUP

SoundGroup、Beat、Rhythm、Pan、Volumeを調整できます。



CLICKボタンを長押しし、CLICKメニューに入り、▲▼ボタンでSETUPを選択します。「SELECT」ボタンを押して①～⑤を選択し、スクロールホイールまたは「+」/「-」ボタンで値を変更、OKを押して保存します。

- SoundGroup**
メトロノームの音を変更します。音色は、5種類搭載されています。
- Beat**
1小節あたりのクリック数を制御します。1～16から選択します。

③ Rhythm

7種類のクリックパターンから選択できます。



④ Pan

音像定位（パンニング）を調整します。

0 = 左、64 = 中央、127 = 右

⑤ Vol

メトロノームの音量を調節します。

RECORDモード

本製品にMIDIパターンを録音できます。

RECボタンを1回押すと、以下のメニューが表示されます。右下の数値はメトロノームのテンポです。録音する前にCLICKボタンを押してメトロノームのテンポとビートを設定できます。



「SELECT」ボタンを押して①～④を選択し、スクロールホイールまたは「+」/「-」ボタンで値を変更、OKを押して保存します。

- ① **KIT**
録音したMIDIを演奏する際の発音部として使用するドラムキットです。
- ② **Meas**
記録される小節の数を設定します。
 - Free/*1/*2/*4/*8/*16
- ③ **QTZ**
ノートをクオンタイズします。設定値通りに自動的に拍を補正します。これにより、タイミングのズレのない演奏が記録されます。
 - OFF、1/4、1/8、3/8、1/16、3/16、1/32、1/64
- ④ **VEL**
ペロシティをクオンタイズします。録音時のペロシティを設定値通りに自動補正します。OFFに設定すると、ペロシティのクオンタイズが行われず、通常の演奏ペロシティが記録されます。
 - OFF、0~127

START

RECボタンを押して、RECORDアイコンを点滅させると、録音モードになり、次に演奏される音から取り込みます。(メトロノームが自動的にオンになりますが、CLICKボタンを押すと解除できます)



STOP

RECボタンを押すと録音が終了し、RECORDアイコンの点滅が止まります。



録音終了後、「OK」を押すと保存されます。保存できるデータは1つだけです。

注意

1. 記録できるヒット数は最大5000件で、それ以降は自動的に記録が停止します。
2. 保存せずに新しい演奏の録音を開始すると、前の演奏は削除されます。
3. 保存せずに別の機能に変更すると、録音が消去されます。

PLAY

▲▼ボタンで、PLAYを選択。「OK」ボタンを押すと再生され、もう一度押すと一時停止します。



DELETE

▲▼ボタンで、DELETEを選択、「OK」ボタンを押すと、録音したデータを削除します。



SETUPボタン/サブメニュー (1/4)

- 「SETUP」ボタンを押すと、SETUPメニューに入れます。
- メニューは、▲/▼を使用して選択します (MIDI - PAD - TRIG - DISP - VER - RESET - UPDATE)。
- メニュー内は、主に「SELECT」ボタンを使用して変更する項目を選びます。
- 値の変更はスクロール・ホイール、または「+」/「-」ボタンで行います。

MIDI

各パッドのMIDIノート番号を表示します。
 パッドを押すと、対応するMIDIノート番号がハイライトされます。
 パッドのMIDI値を「+」/「-」または、スクロール・ホイールを使用して編集できます。

	49	57	51	MIDI
	48	45	43	PAD
A	36	38	42	TRIG
	50	47	41	DISP
		44	35	VER
	□	□	□	□

A. キーマップ

PAD	Note NO.
PAD 1	49 (C#3)
PAD 2	57 (A3)
PAD 3	51 (D#3)
PAD 4	48 (C3)
PAD 5	45 (A2)
PAD 6	43 (G2)
PAD 7	36 (C2)
PAD 8	38 (D2)
PAD 9	42 (F#2)
Trig 1	22 (A#0)
Trig 2	24 (C1)
Trig 3	41 (F2)
Trig 4	39 (D#2)
FootSwitch 1	44 (G#2)
FootSwitch 2	35 (B1)

MIDI インプリメンテーション・チャート

Function	Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Channel	10	1-16, OFF	Memorized
Mode	Mode 3	Mode 3	
Note Number	0-127, OFF	0-127, OFF	Memorized
Velocity	Note On O 99H, v = 1-127 Note Off O 89H, v = 0	O	
After Touch	X	X	
Pitch Bend	X	X	
Control	X	X	
Program Change : True Number	X	O 0-127	
System Exclusive	O	O	
System Common	: Song Position X : Song Select X : Tune Request X	X X X	
System Real Time	: Clock X : Commands X	X X	
Aux Message	: All Sound Off X : Reset All Controllers X : Local On/Off X : All Notes Off X : Active Sensing O : System Reset X	X X X X O X	

Mode 3 : OMNI OFF, POLY

O : Yes
X : No

SETUPボタン/サブメニュー (2/4)

PAD

パッド固有のパラメータを調整します。

A	PAD6	MIDI
B	Mode OFF	PAD
C	Sensitivity 15	TRIG
D	Threshold 15	DISP
	VelCurve linear	VER
	□□□□□	

① Mode

PAD1~9の動作を変更します。

- KIT DEC
ドラムキットを選択する際の [-] ボタンとして動作します。
- KIT INC
ドラムキットを選択する際の [+] ボタンとして動作します。
- CLICK
パッドを使用してメトロノームのオン/オフを切り替えます。
- MUTE
パッドを使用して音を止めます。
- OFF
モードをOffにします。(固有の設定をせず、通常のPADとして使用します。)

② Sensitivity

パッドの感度を1~32の間で調整します。1は低感度、32は高感度です。

③ Threshold

パッドから音を出すためのスレッシュホールドを1~32の間で調整します。高い値に設定すると、軽く叩いても音が出ません。

④ VelCurve

パッドを強く叩いたとき、ペロシティの変化を設定します。linear、log、exp、maxから選択します。

- linear
初期設定のペロシティタイプです。パッドを強く叩くと、サウンドの音量が均等に大きくなります。
- log
サウンドのボリュームが最大ペロシティに早く到達します。ダイナミックレンジをあまりとらずに最大ペロシティを出したいときに最適です。

- exp

サウンドはゆっくりと最大ペロシティに達するので、細かい音のニュアンスを持たせたいときに最適です。

- max

サウンドは叩いた強さに関わらず、最大ペロシティになります。

Ext PAD

本製品に接続したパッド (別売) を調整することができるメニューです。

追加したフットスイッチを制御するには、フットスイッチを接続し、それを押します。

A	Fs1	MIDI
B	Mode HHPedal	PAD
C	Control PAD 9	TRIG
D	Open 50	DISP
	Close 10	VER
	□□□□□	

① Mode

フットスイッチの動作を変更できます。初期設定では、「FS1」がHHPedalモード、「FS2」がKICKモードになります。

- HHPedal
ハイハットペダルとして動作します。
- PAD
パッドがサンプルAかBかをコントロールするために使用します。(例: フットスイッチを押すとサンプルAを再生し、離すとサンプルBに戻る)
- KICK
キックドラムとして機能します。フットスイッチを踏むとサウンドが再生されます。
- KIT DEC
ドラムキットを選択する際の[-]ボタンとして動作します。(プリセットを変更できます)
- KIT INC
ドラムキットを選択する際の[+]ボタンとして動作します。(プリセットを変更できます)
- CLICK
メトロノームのオン/オフを切り替えます。
- MUTE
音を止めます。

SETUPボタン/サブメニュー (3/4)

② Control

HHpedalモード、またはPADモードで、フットスイッチがコントロールするパッド1~9を選びます。

③ Open

ハイハットの開く位置を調整します。値を小さくすると、ハイハットが早く開きます。

値：10-64

④ Close

ハイハットの閉じる位置を調整します。値を大きくすると早く閉じます。

Closeの値はOpenの値以下になります。

TRIG

外部トリガーを接続する場合、トリガーの種類をシングルまたはダブルから選択できます。正しいモデルとタイプを選択することで、好みの音を出すことができます。

(A)	Fs1		MIDI
	Type	PDL-HH131	PAD
(B)	Trig1/2	Dual	TRIG
(C)	Trig3/4	Dual	DISP
			VER
			□□□□

① Type

以下の6種類の中から、お手持ちのトリガーパッドに最も近いタイプを選びます。

DRM16208	8インチ・ラバードラムパッド
DRM18107	7.5インチ・ラバードラムパッド
DRM19106	7.5インチ・シングル・トリガーメッシュドラム
BAS18103	2.5インチ・ラバーキックドラム
BAS19107	7.5インチ・ラバーキックドラム
CBL17110ST	シングル・トリガーシンバル

② Trig1/2

Trig1/2に接続された外部パッドのトリガーを、シングルまたはデュアルに設定します。

③ Trig3/4

Trig 3/4 に接続された外部パッドのトリガーを、シングルまたはデュアルに設定します。

DISP

LCDのコントラストと、LEDの点灯/消灯を設定できます。

(A)	[setup]	MIDI
	CD Contrast 13	PAD
(B)	LED Type type1	TRIG
		DISP
		VER
		□□□□

① 液晶コントラスト

液晶画面のコントラストを、0 ~ 20で設定します。

② LEDタイプ

● Off

パッドを叩いたときのLEDの点灯/消灯を切り替えます。

● Type1

プレイ中は、LEDが0.5秒点灯し、消灯します。

● Type 2

再生中はLEDが点滅します。

VERSION

UNIT内部のソフトウェアに関する情報が表示されます。

(A)	[setup]	MIDI
	SF SF7.05	PAD
(B)	Firmware 4.01t	TRIG
(C)	Syn Ver syn3.04	DISP
(D)	Detect ED0.12	VER
		□□□□

① SF

内蔵サウンドのバージョン。

② Firmware

インストールされているファームウェアのバージョン。

③ Syn Ver

インストールされているシンセサイザー・ソフトウェアのバージョン。

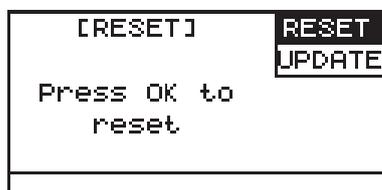
④ Detect

インストールされている検出アルゴリズムのバージョン。

SETUPボタン/サブメニュー (4/4)

RESET

工場出荷時の設定に戻すために使用します。



1. 「SETUP」を押し、「▼」ボタンで「Reset」までスクロールします。
2. OKを選択し、「SELECT」ボタンでYESを選択して、リセット処理を開始します。
3. 完了後、本製品は自動的に再起動します。この間、他のボタンは押さないでください。

注意

ドラムパッドが正常に動作しなくなった場合は、[POWER]+[UP]+[DOWN]を押してリセットしてください。

高度な機能 / USBメモリー (1/2)

- 「SETUP」 と 「OK」 ボタンを同時に長押しして、USBメモリーオプションメニューにアクセスします。
- ここから本製品にサウンドをインポートしたり、エクスポートしたりできます。

※ファイルはEXFAT/FAT32/FAT形式のみ対応しています。
 ※USBメモリーがフォーマットされていない場合は、本製品でフォーマットしてください。
 ※本製品は、USBメモリーのルート（最上階層）メニューにあるファイルしか読み込めません。

WAVE

USBメモリのルートディレクトリに保存したサウンドファイルが、ここに表示されます。（プレビューを行う前にインポートする必要があります）

U1	WAVE
1ksine	MIDI
500square	LOAD
1.5ksquare	SAVE
1ksine	INFO
500square	
□□□□□	

Waveファイルを削除したい場合は、「SELECT」を押して、選択したファイルを削除するか、すべてのファイルを削除するかを選び、確定します。

U001	WAVE
Delete WAVE?	
Cancel Single	All
□□□□□	

MIDI

MIDIファイルのデータを本製品上でプレビューできます。スクロール・ホイールまたは、[+]/[-]ボタンで、MIDIファイルをスクロールできます。

※USBメモリー内のMIDIファイルは、読み込みが終わるまで表示されません

U1	WAVE
mid102.mid	MIDI
mid103.mid	LOAD
mid104.mid	SAVE
mid105.mid	INFO
□□□□□	

MIDIファイルを削除したい場合は「SELECT」を押して、選択したファイルを削除できます。

U1	WAVE
Delete MIDI?	
No	Yes
□□□□□	

LOAD

ユーザーのサウンド、キット、設定を本製品にインポートします。

	[USB]	[mem]	WAVE
(A)	←	Kit	MIDI
(B)		Setting	LOAD
(C)		PresetKit	SAVE
(D)		All	INFO
			□□□□□

- (A) **Kit**
ユーザーサウンド、ドラムキット構成、MIDIファイルデータを転送します。
- (B) **Setting**
パッドの設定情報を転送します。
- (C) **PresetKit**
本製品に搭載されたパッドプリセットを持つドラムキットを転送します。
- (D) **All**
キットとセッティング全てを転送します。
- (E) 
USBメモリーが接続されていることを示します。表示されない場合は、正常に接続されていません。
- (F) **IMEM**
ユーザーサウンドのメモリー使用量を表示します。メモリー容量が不足している場合は、使っていないファイルを消去できます。

ユーザーのサウンド、キット、設定を本製品にインポートする方法

"pad_wave"という名前のフォルダーをUSBメモリのルート（最上階層）ディレクトリに作成し、そこにWAVEファイルを入れてください。LOADインターフェイスのKitオプションで本体にインポートします。

高度な機能 / USBメモリー (2/2)



SELECTを押して、以下の設定をスクロールし、「OK」をクリックして、インポート処理を開始します。Cancel、Update、Appendのオプション※が表示されるので、「SELECT」を押して選択、「OK」を押して確定してください。

※Appendは選択したファイルを取り込み、Cancelは操作をキャンセル、Updateは以前に取り込んだファイルを上書きします

注意

USBメモリーでサウンドを取り込む場合、waveファイルは以下の条件を満たしている必要があります。

1. すべてのサウンドは、48Kサンプリングレート、16ビット、1チャンネルである必要があります。
2. インポートするwaveファイルは本製品のメモリを超えることはできません。
3. サウンドの名称は16文字以内です。
4. 取り込めるのはwaveファイルのみ。MP3、MIDI等是对应していません。

EXPORT

ドラムキットの構成、ユーザーサウンド、設定、MIDIデータを本機から対応するUSBメモリーに書き出せます。

以下の項目を設定し、「OK」をクリックすると、エクスポートが開始されます。



「OK」を押すと、YESかNOの選択ができ、YESの場合は選択したファイルをエクスポート、NOの場合はキャンセルします。

① Kit

ユーザーサウンド、ドラムキット構成、MIDIデータをエクスポートします。

② Setting

パッドの設定をエクスポートします。

③ All

上記2項目をエクスポートします。

注意

内蔵プリセットキットは書き出できません。

INFO

USBメモリーの総容量と残容量に関する情報を表示し、フォーマットを選択することもできます。



① USBMem

USBメモリーの総容量が表示されます。

② U Remain

USBメモリーの空き容量が表示されます。

③ Format U-disk

USBメモリーをフォーマットするために使用します。「OK」を押すと、YES / NOが表示されるので、どちらかを選択し、再度「OK」を押して確定します

※重要な文書は必ずバックアップを取ってください。

フォーマットすると、保存されている全てのデータが削除されます。

④ Defragment Imem

メモリーのデフラグ（最適化）を行います。時間がかかります。動作中は電源を切らないでください。